

「周 聡さんの受け入れを終えて」

自治体名	島根県
研修員名	周 聡
出身国	中華人民共和国
研修分野	文化交流
研修期間	6か月
主な研修先	環境生活部文化国際課



文化国際課の席で

1 背景・目的

島根県は、その地理的・歴史的・文化的特性を活かしながら、日本海を挟み対岸にある北東アジア地域（中国・韓国・ロシア）との交流を進めており、今年は吉林省との友好交流の覚書を結んで以来 20 周年を迎える節目の年でした。

近年、日中韓 3 カ国の外交関係の悪化をはじめとし、交流事業を取り巻く環境は厳しさを増している現状にあります。このような現状ではありますが、北東アジアの安定や友好関係は県民にとっても重要であり、それらの国々の国民同士の相互理解を一層深める必要があります。

今後も、引き続いて同省との交流は継続していくこととしており、両県省の良好な関係の維持を目的の一つとし、人的交流を進めるため研修員を受け入れました。

2 研修の概要

当課には、中国・韓国・ロシア・アメリカからの国際交流員が 5 名います。研修員には、主に、彼らと共に吉林省 20 周年記念事業をはじめとする下記の事業に参加してもらいながら研修を行いました。

- ・島根県吉林省 20 周年交流事業（吉林省写真展、訪問者受入）
- ・北東アジア青年交流事業（交流の翼 in しまね）
- ・中国の旅行業者と地元観光業者・宿泊施設との商談会通訳
- ・外航クルーズ船入港時の式典通訳、観光案内
- ・県広聴広報課における島根県の報道業務
- ・JICA 事業ブラジル日系研修員とともに県外研修（広島）

研修では、同行しながら事業の概要について説明を受け、時には通訳として活躍してもらいました。

3 研修実施にあたって工夫、苦勞したこと

吉林省との 20 周年記念事業に多く関わってもらうなかで、日本の自治体の事業の進め方を学んでもらう予定でしたが、それほど事業が多くなかったため、急遽他の研

修を組み参加してもらうこととなりました。研修分野が「文化交流」でしたので、島根県内の伝統文化や歴史を学べる仕事には、積極的に同行して研修をしてもらいました。これら多くの実体験を通して、島根の文化だけでなく、日本の仕事の仕方等も学んでもらえました。



盆栽作り体験

当課を研修場所にしたことで国際交流員と席を並べてもらったため、交流員と業務やサービス関係における差が生じて申し訳ない部分がありましたが、母国語で話せる同僚がいることは安心感もあったことと思います。日本語能力が高いこともあり、生活面における問題は全くなく、そういう点での苦労はありませんでした。

4 成果・課題

来県時には、既に日本語が堪能であり、最初から意思疎通を取ることにに関しての心配はほとんどありませんでした。日本人に囲まれた研修の中で、より一層日本語能力は伸びたと感じています。

また、吉林省政府の職員ということもあり、メディア等では日中関係の厳しさが取り沙汰される中ではありましたが、日本の自治体が、県民と中国との交流をどのように進めようとしているか理解してもらったと思います。



文化国際課の職員とともに

観光部局での中国事業者との商談、中国人の観光客に対する観光案内通訳等の実地研修では、民間事業者の方はもとより、自治体としても、いかに中国人を迎え入れ、気持ちよく滞在をしてもらおうとおもてなしの取り組みをしているかに触れてもらう良い機会になったと思います。

研修の後半の広聴広報課での研修では、特に、知事の記者会見に対する記者との関係性について、中国で担当していたことと比較しながら大変興味深く感じたとのことでした。こちらも、中国のメディアと政府との関係について知ることができ、国の違いを強く感じた部分でした。

また、研修員の性格が非常に明るく、日本語能力が高かったため、当課の国際交流員を含む職員をはじめ多くの人との会話を通じて、視野が広がったことと思います。

まだまだ、若い職員でもあるので、吉林省政府で頑張ってもらい、今後は島根県とのパイプ役になってもらいたいと強く願っています。